

CF-06297

US/18

08/013, 542

日本国特許庁

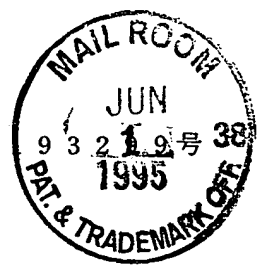
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

付の書類は下記の出願書類の謄本に相違ないことを証明する。
to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
Office.

年 月 日
Application: 1988年8月2日

番 号
Application Number: 昭和63年特許願第

人
(s): キヤノン株式会社



CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1989年9月8日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

吉田文毅



出証平 1-48610

特 許 願

昭和63年8月2日

特許庁長官 吉 田 文 毅 殿

1. 発明の名称

ファクシミリ装置

2. 請求項の数

1

3. 発明者

居 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

キヤノン株式会社 内

氏 名 佐 藤 了一郎

4. 特許出願人

住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

名 称 (100) キヤノン株式会社

代表者 賀 来 龍三郎

5. 代理人

住 所 〒162 東京都新宿区富久町16-10

ニューライフ新宿参番館 202号

電話 03(358)8663

氏 名 (8744) 弁理士 川久保 新 一



6. 添付書類の目録

(1)	明 細 書	1	通
(2)	図 面	1	通
(3)	委 任 状	1	通
(4)	願 書 副 本	1	通

1 . 発 明 の 名 称

ファクシミリ装置

2 . 特 許 請 求 の 範 囲

多数のファクシミリ送信先の宛先情報を格納した電子電話帳を有するファクシミリ装置において、

上記電子電話帳は、キーワードによる検索機能を備え、キーワードを入力することにより、1つまたは複数のファクシミリ送信先を選択することを特徴とするファクシミリ装置。

3 . 発 明 の 詳 細 な 説 明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、ファクシミリ装置に関する。

〔従来 of 技術〕

従来より、パーソナルコンピュータ（以下、パ

ソコンという) による電子電話帳を有するファクシミリ装置が知られている。

このファクシミリ装置では、電子電話帳内に、たとえば50音順の索引別で送信先の宛先情報が格納されており、索引の指定によってこれに属する宛先情報をCRTに表示させ、この中から送信したいものを指定するようになっている。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、このような従来技術では、電子電話帳の各送信先を、単に索引別にCRTに表示して選択することから、索引毎に1つずつ送信先を指定することが必要である。したがって、多くの送信先や異なる索引内の送信先を指定しようとすると、作業が煩雑となる。また、特に同報送信を行なうために、複数の送信先を一括して指定することが困難である。

このため、以上のようなファクシミリ装置においては、同報送信用のデータを別途登録しておく必要があり、パソコンのデータ処理機能が充分発揮されていなかった。

また、以上のようなファクシミリ装置では、必要とする送信先のデータが、どの索引に属するのか知ることが必要であり、これを知らない場合には、各索引を順番に呼出して探さねばならず、この作業は極めて煩雑となり、この点からもパソコンのデータ処理機能が充分発揮されていなかった。

本発明は、電子電話帳に格納された送信先のデータをより有効に活用することができ、同報送信等における作業の効率化を図ることのできるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

[課題を解決する手段]

本発明は、多数のファクシミリ送信先の宛先情報を格納した電子電話帳を有するファクシミリ装置において、上記電子電話帳は、キーワードによる検索機能を備え、キーワードを入力することにより、1つまたは複数のファクシミリ送信先を選択することを特徴とする。

[作用]

入力されたキーワードに対応するファクシミリ

送信先のデータが電子電話帳より呼出される。

したがって、キーワードを適宜選定して入力することにより、所定のファクシミリ送信先を一括して選択することができ、この送信先について、たとえば同報送信を行なうことができる。

[実施例]

第1図は、本発明の一実施例を示すパソコンFAXのブロック図である。

図において、中央処理部1は、CPU、ROMおよびRAMより構成され、このパソコンFAXの全体を制御する。

メモリ部2は、第2図に示すように、電子電話帳ソフトウェア2-1と、FAX送信ソフトウェア2-2と、電話帳ファイル2-3と、FAX送信リストファイル2-4と、送信データファイル2-5より構成されている。

キーボード3は、送信先のを検索するためのキーワードの入力や、ワードプロセッサとしてのデータの入力、さらには電話番号の登録のための入力を行なうものである。

C R T 4 は、キーボード 3 より入力されたキーワードに対応した送信先毎の表示を行なう。

プリンタ 5 は、受信データや電子電話帳ファイル 2 - 3 の内容の記録記録を行なう。

送信ファイル 6 は、キーボード 3 により作成された文書を送信データとして格納したり、不図示の画像読取部により読取られた画像を格納する。

通信制御部 7 は、このパソコン F A X と通信相手装置との制御を行なう。この通信制御部 7 には、回線 8 が接続されている。

次に、メモリ部 2 の構成について説明する。

電子電話帳ソフトウェア 2 - 1 は、キーボード 3 から入力されるキーワードにより、電話帳ファイル 2 - 3 内の送信先を検索し、この検索した送信先データによって F A X 送信リストファイル 2 - 4 に送信リストを作成し、これを C R T 4 の画面に表示するものである。

また、F A X 送信ソフトウェア 2 - 2 は、キーボード 3 からの指示に基き、送信ファイル 6 から

キーボード 3 により文書作成されたコード情報を呼出し、これをファクシミリ送信用の画像情報に変換して送信データファイル 2 - 5 に格納する。そして、この画像情報を通信制御部 7 に送り、指定された送信先に送信するものである。

第 3 図は、このパソコン F A X における送信動作を示すフローチャートである。

まず、F A X 送信ソフトウェア 2 - 2 が起動されると送信ファイルの指定を行なう (S 1) 。これにより送信データファイル 2 - 5 が作成される。

次に、電子電話帳ソフトウェア 2 - 1 により、電話帳ファイル 2 - 3 に対する検索キーワードを入力する (S 2) 。

そして、この検索キーワードにより電話帳ファイル 2 - 3 を検索し、該当する送信先データを呼出し、このデータを C R T 4 に表示する (S 3) 。

次に、オペレータの選択により、C R T 4 に表示された送信先データから、さらに実際に送った

い送信先を指定し、FAX送信リストファイル2-4を作成する(S4)。なお、この場合オペレータは、複数の送信先を選択することが可能である。

次に、このFAX送信リストファイル2-4に基づき、指定された送信先に送信データファイル2-5の内容を送信する(S5)。

第3図は、電話帳ファイル2-3の内容と検索キーワード、およびFAX送信リストファイル2-4の関係を具体例を用いて説明する模式図である。

電話帳ファイル2-3には、多数の送信先データに混じって「XX株式会社」、「XX株式会社△△支店」、「株式会社XXサービス」等、XX株式会社とその関連会社の送信先データが格納されている。そこで、検索キーワードとして「XX」を入力することにより、多数の送信先データの中から「XX株式会社」その関連会社の送信先データだけを検索して、FAX送信リストファイル2-4に格納する。そしてさらに、必要に応じ

てFAX送信リストファイル2-4の内容を削減または追加し、送信したいものだけを選択する。

このようにして、適当な検索キーワードを選ぶことにより、必要な送信先データを簡単に検索することができる。

したがって、電話帳ファイル2-3の送信先データを用いて同報通信を行なうことも極めて容易かつ自在となり、同報通信のための登録テーブルを別途用意する煩雑さも解消できる。

なお、以上の実施例では、ファクシミリ送信の送信先を選択する場合のみについて説明したが、たとえばBBS（電子掲示板システム）といったパソコン通信へのアクセス、あるいは直接通話を行なう場合等にも、上述のように電子電話帳をキーワードで検索して、表示されたものの中から送信先を選択するという処理が有効となる。

また、以上の実施例では、送信先の名称に対するキーワードによって検索を行なったが、予め電子電話帳に名称に対応する特定の略号を、送信先

のグループ毎に格納しておき、この略号をキーワードとして所望の送信先グループを呼出すようにしてもよい。

〔発明の効果〕

本発明によれば、キーワードを入力することにより、所定のファクシミリ送信先を一括して選択することができる。したがって、電子電話帳に格納された送信先のデータをより有効に活用することができ、同報送信等における作業の効率化を図ることのできる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の一実施例を示すパソコンFAXのブロック図である。

第2図は、同パソコンFAXのメモリ部の構成を示すブロック図である。

第3図は、同パソコンFAXにおける送信動作を示すフローチャートである。

第4図は、同パソコンFAXにおける電話帳ファイルの内容と検索キーワード、およびFAX送

信リストファイルの関係を具体例を用いて説明する
模式図である。

1 … 中央処理部、

2 … メモリ部、

3 … キーボード、

4 … C R T、

6 … 送信ファイル、

8 … 回線、

2 - 1 … 電子電話帳ソフトウェア、

2 - 2 … F A X 送信ソフトウェア、

2 - 3 … 電話帳ファイル、

2 - 4 … F A X 送信リストファイル、

2 - 5 … 送信データファイル。

特許出願人 キヤノン株式会社

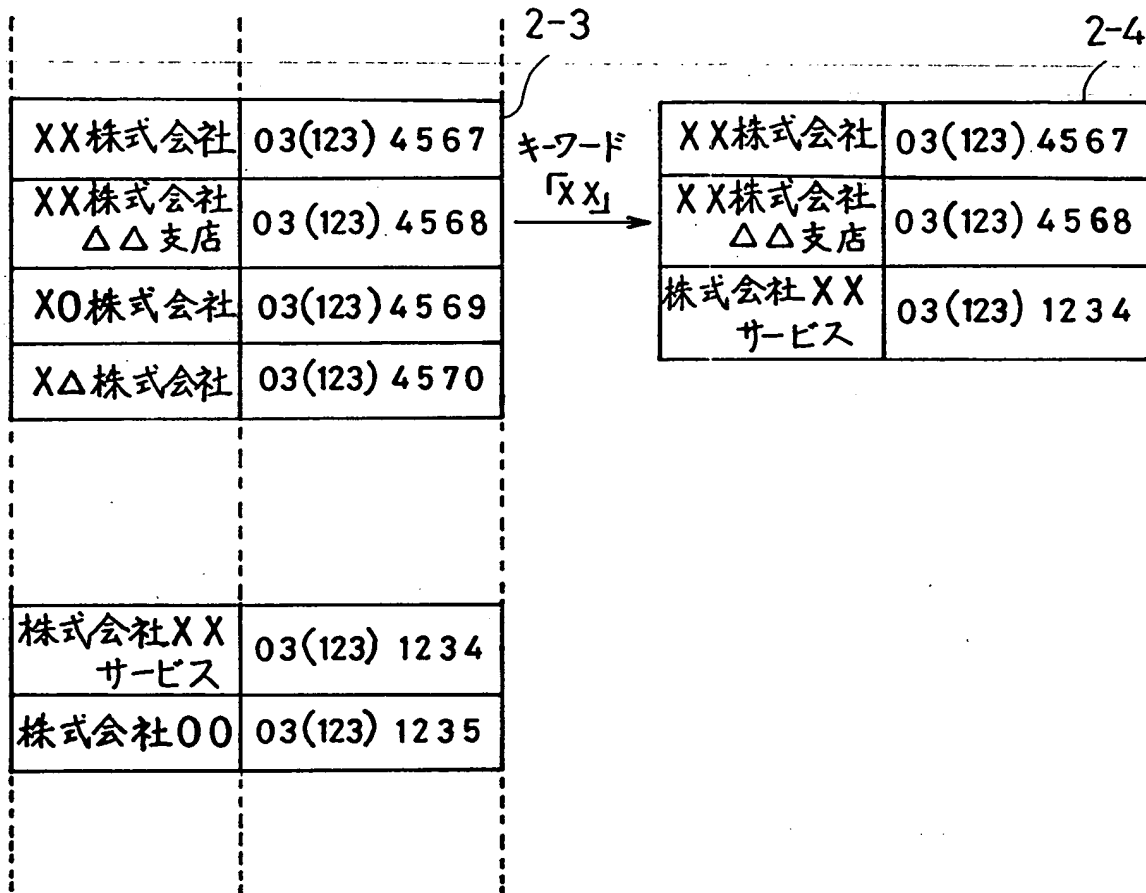
同代理人 川久保 新 一

K849

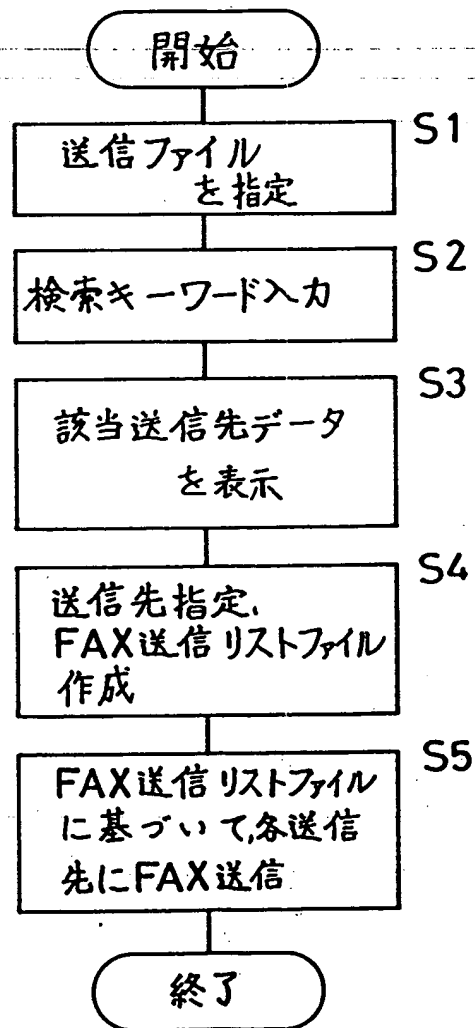
出願人 キヤノン株式会社

同代理人 弁理士 川久保 新一

第4図



第3図



K849

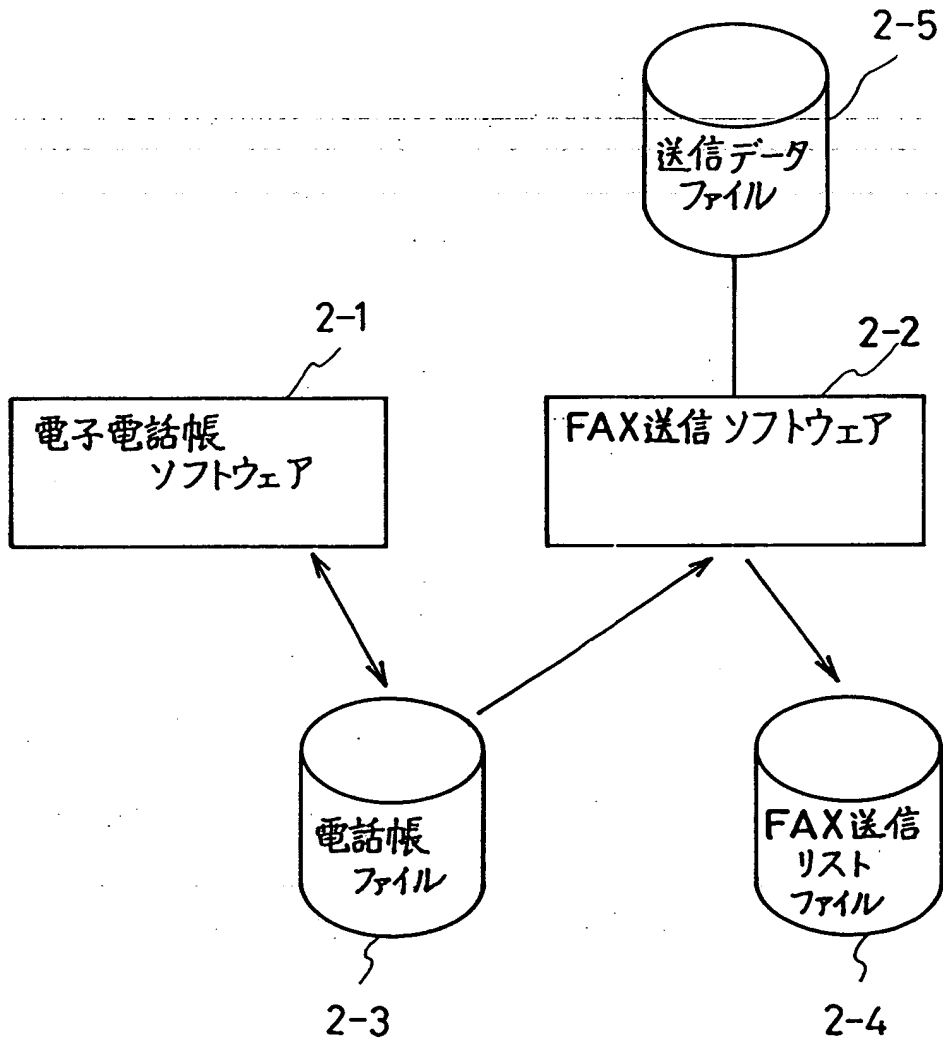
出願人

キヤノン株式会社

同代理人

弁理士 川久保 新一

第2図

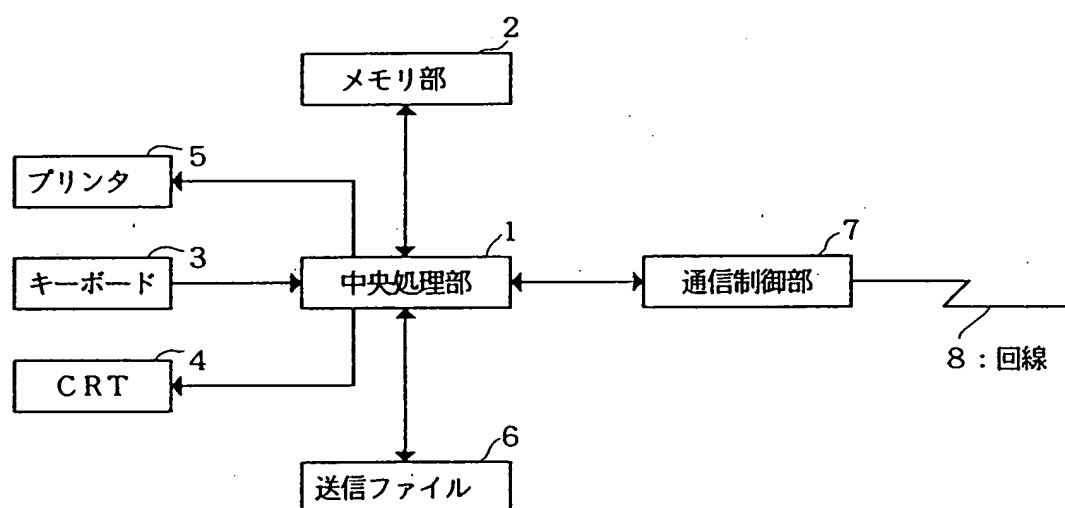


K899

出願人 キヤノン株式会社

同代理人 弁理士 川久保 新一

第1図



出願人 キヤノン株式会社

同代理人 弁理士 川久保 新一